

第25回山形県サッカー総合選手権大会

兼第101回天皇杯全日本サッカー選手権大会山形県代表決定戦



実施要項

■ 主 催 特定非営利活動法人 山形県サッカー協会

■ 共 催 山形新聞・山形放送・共同通信社

■ 協 賛 (株) モルテン

■ 主 管 山形地区サッカー協会

1. 日 程 2021年 3月 7日(日) 1回戦
3月 14日(日) 2回戦
3月 21日(日) 2回戦
4月 25日(日) 準決勝
5月 9日(日) 決勝戦

2. 会 場 山形市球技場(1回戦～準決勝)
山形県総合運動公園サッカー場(決勝戦)

3. 参加資格及び参加チーム

- (1) 2021年度日本サッカー協会に加盟登録した第1種の単独チームであり、日本サッカー協会認定3級以上の審判員を帯同審判員として登録し、帯同できるチームとする。
- (2) 日本サッカー協会クラブ申請済クラブの同一下部組織第2種以下登録選手に限り、種別変更(移籍)せず第2種以下登録選手のままの出場を認める。

4. 参加人数 (1) 参加登録選手は30名以内とする。但し、監督が選手を兼ねる場合は、選手登録をしなければならない。参加申込締切り後の選手変更及び規定数(30名)までの選手の追加は認めない。
(2) 外国籍選手は、1チーム5名までエントリーすることができる。
(同一試合に同時に登録する選手は3名とする。)

5. 競技規定 (1) 大会実施年度の公益財団法人日本サッカー協会「サッカー競技規則」による。
(2) 試合開始70分前までに交替要員7名を含んだメンバー用紙を提出すること。試合中の選手交代は5名以内とし、交代回数は3回までとする。試合が途切れる回数を減らすため、試合中の交代は各チーム最大3回とする。加えてハーフタイム時にも交代することができる。延長戦においては6人目の交代を行うことができる。
(3) 退場を命じられた選手及び退席を命じられた役員は、次の公式試合1試合に出場することができない。その後の処置については、大会規律委員会において決定する。また、今大会中に累積で2度の警告を受けた選手は、今大会の次の1試合に出場することができない。
同一試合で2回警告による退場を命じられた選手は、次の公式試合1試合に出場することができない。
(4) 未登録または二重登録などの不正選手が出場していた場合、それが判明した時点で該当チームを失格とし、相手チームの勝ちとして試合を打ち切る。しかし、既に行われた試合にまで遡って適用しない。この該当チームの懲罰については大会規律・フェアプレー委員会にて協議の上裁決される。

- (5) 本大会に参加を申し込んだ後の棄権は一切認めない。やむを得ない事情で参加不可能になった場合は直ちに本(協会)大会事務局および相手チームに通知し、本(協会)大会事務局に対して改めて文書にて理由書を提出する。
- (6) メンバー表提出時に、日本サッカー協会発行の選手証(写真貼付済)を提出すること。

6. 競技方法

- (1) 試合は、トーナメント方式とする。
- (2) 試合時間は90分とし、勝敗が決しない場合は、PK方式により次回戦に進出するチームを決定する。但し、決勝戦は、30分間の延長戦を行い、それでも勝敗が決しない場合は、PK方式で優勝チームを決定する。
- (3) ハーフタイムのインターバルは15分（前半終了から後半開始まで）とする。PK方式に入る前のインターバルは3分とする。延長戦に入る前のインターバルは5分とする。
- (4) テクニカルエリアを設置する。
戦術的指示は、テクニカルエリア内から、その都度ただ1人の役員が伝えることができる。必要な場合は通訳の同行が認められる。
- (5) ベンチに入ることができる人数は12名（交替要員7名、役員5名）とする。
- (6) 負傷した競技者の、負傷の程度を確かめるために入場を許される役員の数は2名とする。

最後に変更案を記載

7. ユニフォーム

- (1) 参加申込後のユニフォームの色彩の変更及び背番号の変更は認めない。
- (2) 背番号は必ず、参加申込書に登録された選手固有の番号をつけること。
- (3) ユニフォームに広告を掲示しているチームは、申請書類・承認された書類を提出すること。なお申請していない場合には、そのユニフォームを着用して試合を行うことを認めない。

8. 選手の用具

- (1) 本競技会に登録した正・副2組のユニフォーム（シャツ、ショーツ及びソックス）を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。
- (2) 正・副の2色については明確に異なる色とする。
- (3) 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち合いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
- (4) 前項の場合、主審は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。

9. 参加料

25,000円

10. 参加申込み

- (1) 参加申込みは、JFA KICKOF の大会エントリーから申し込むこと。
参加料は申し込み期限までに下記口座まで振り込むこと。振込手数料はチーム負担とする。いかなる場合でも、参加料の返金はしない。
- (2) 申し込み期限は、2月25日（木）とする。
※期日が過ぎると大会エントリーが出来なくなるので注意してください。

問い合わせ先

1種委員長 笹村 誠 携帯：090-3368-6629

■ 申込み先：makoto.0420.0@gmail.com

■ 銀行名：山形銀行 陣場支店

■ 口座番号：普通預金 N o. 326038

■ 名義：山形地区サッカー協会 一種委員会

一種委員長 笹村 誠

※ 振込人欄にはチーム名を必ず記載すること。

11. 宿泊申込 今大会については、宿泊及び昼食の斡旋は行わない。各チームで手配すること。
12. 組合せ 大会事務局で行う。前年度ベスト4チームをシードする。
13. 監督会議 今大会については、監督会議を行わない。ただし、試合開始70分前に代表者ミーティングを行う。
14. その他
- (1) 大会を開催するにあたり、山形県1種委員会・山形県社会人連盟発行「新型コロナウイルスの影響下におけるチーム遵守事項」に従うこと。
また、健康チェックリストに必要事項を記入し提出すること。
 - (2) 試合開始70分前に、大会本部において両チームの代表者・審判団・会場運営責任者の出席により代表者ミーティングを開催する。チームの代表者は、その際、メンバー票、選手証、フィールド及びゴールキーパーのユニフォームの正・副を持参し、メンバー票、選手証は提出すること。なお、メンバー票のユニフォーム欄には、記入しないこと。審判団によるユニフォームチェックの結果、大会本部で記入する。
このミーティングに出席しなかった場合、連絡無く遅刻した場合は、棄権とする。
 - (3) 試合球は主催者側で準備をする。
 - (4) ベンチは、対戦番号の小さいチームがコートから本部を見て右側を利用すること。
 - (5) 今大会の準決勝・決勝戦以外は帯同審判制で行う。
3級以上の審判員を登録できないチームは、参加を認めないので、必ず登録（参加申込書に記載）し、試合当日帯同すること。帯同できなかった場合は、試合結果にかかわらず、棄権とする。帯同審判員は、試合開始70分前の代表者ミーティングに連絡無く遅刻した場合も、試合結果にかかわらず棄権とする。
 - (6) 決勝においては、参加登録選手の追加は認めるが変更は認めない。但し、同大会に他チームでの登録済み選手の追加は認めない。
 - (7) 今大会は、監督会議を実施しないので、要項等についての疑義等は、大会事務局（参加申込先と同じ）まで、問い合わせること。事前に各チームに連絡すべきことが生じた場合は別途通知する。
 - (8) 今回、申込期間が短いので注意すること。
 - (9) JFA登録は2/15から始まります。申込期限が2/25で二週間もありません。
各チーム十分に余裕を持って登録、エントリーして下さい。

第25回山形県サッカー総合選手権大会

兼第101回天皇杯全日本サッカー選手権大会山形県代表決定戦

■ 競技上の注意事項

1. メンバー表、選手証の提出

試合開始70分前までに、チームの代表者は、メンバー提出用紙、選手証を会場の大会本部に提出すること。なお、メンバー提出用紙のユニフォーム欄には、記入しないで提出すること。ミーティングで決定後に大会本部で記入する。

2. ミーティング開催とユニフォームチェック

試合開始70分前に、両チームの代表者・審判団・会場運営責任者の出席によりミーティングを開催する。チーム代表者は、参加申込書に記載したフィールド及びゴールキーパーのユニフォーム正・副を持参すること。チーム代表者がミーティングに出席しなかった場合、または連絡無く遅刻した場合は棄権とする。帯同審判員についても割り当てられた試合のミーティングに必ず出席すること。(帯同審判員が遅刻した場合も棄権とする)

3. ユニフォームについて

今大会において、使用できるユニフォームは、日本サッカー協会制定のユニフォーム規定に則ったユニフォームとする。胸番号の表示ないユニフォーム及び紺や黒の審判と類似した色彩のユニフォームについては、使用できないので特に注意すること。広告掲示をしている場合は必ず申請承認書類を提出すること。

4. 競技者の用具チェック

競技者は、キックオフ7分前に本部前に集合して、審判員より用具の点検を受けること。競技者が、認められていない危険な用具や装身具を身につけている、あるいは使用している場合、それを取り除かなければ試合には出場できない。

5. 戰術的指示

戦術的指示は、テクニカルエリア内から、その都度ただ一人伝える事ができる。必要な場合は通訳の同行を認める。

6. 競技者の負傷・治療

競技者が負傷して主審が競技を停止した場合、主審の承認を得てからチーム関係者2名のみがピッチ内に入る事ができる。そのチーム関係者は負傷の程度を判断する事と、負傷者のピッチからの搬出を手配する事だけにピッチに入る為、ピッチ内での治療は認められない。

7. 競技者の交替

交替によって退く競技者は、主審の承認を得た後、近くの境界線からピッチの外に出る。交替要員は、退く競技者がピッチの外に出た後、試合の停止中に主審の承諾を得てハーフウェイラインの所よりピッチに入る。

8. 競技者の飲水

競技者の試合中の飲水は、ボールがアウトオブプレー中にタッチラインとゴールライン上において認められる。新型コロナウイルスの感染対策として、同じボトルを共有しないこと。そのため、飲水タイムを設けることとする。

9. ウォーミングアップ

交替要員のウォーミングアップは、競技場ごとに指定された場所にてビブス等を着けて、ボールを使用しないで行う。

10. ベンチ入り人数

ベンチに入る事ができるのは、交替選手7名と役員5名（監督・コーチ・ドクター・マネージャー・通訳）の最大で12名とする。（交替要員はビブス等を着用のこと）